

平成14年5月30日

報道各位

日鉱金属株式会社
三井金属鉱業株式会社

銅製錬事業における業務提携の更なる拡充について
パンパシフィック・銅(株)による原料調達・生産・販売一貫体制を構築

日鉱金属株式会社(本社:東京都港区虎ノ門二丁目、社長:大木和雄、以下「日鉱金属」)及び三井金属鉱業株式会社(本社:東京都品川区大崎一丁目、社長:宮村眞平、以下「三井金属」)は、かねて銅製錬事業に関する業務提携を鋭意推進しており、既に、その一環として、共同販売会社 パンパシフィック・銅株式会社(以下「P P C社」)及び共同買鉱エージェント会社 ユナイテッド・銅・リソース株式会社(以下「U C R社」)を設立するなど、原料調達、製品販売、市場開拓、技術開発等広範にわたり、所期の成果を着実に上げてきております。

今般、この提携効果を更に高めていくとの観点から、従来の「U C R社がエージェントとして鉱石を調達し、P P C社が製品を購入・販売する」体制を改め、「P P C社が原料鉱石を購入する。そして同社が、日鉱金属、三井金属両社に鉱石の製錬を委託し、返還された製品を販売する」一貫体制を構築することといたします。これにより今後は、P P C社が鉱石市場・販売市場の状況に応じて買鉱、生産、販売の各計画を策定するとともに、両社からの協力を得て鉱山投融资、新技術開発等の企画・立案・推進を行うことといたします。U C R社はこれに伴い解散いたします。

上記新体制への移行時期については、P P C社による原料鉱石調達の開始及びU C R社の解散は平成14年7月を、P P C社による日鉱金属、三井金属両社への製錬委託の開始は平成15年4月を、それぞれ予定しております。

新体制におけるP P C社の概要は別紙のとおりであります。

今般の一貫体制構築は、両社銅製錬事業の競争力を一段と強化し、銅製錬事業を巡る事業環境が一層厳しさを増す中であって、電気銅及び硫酸の安定供給に資するものと考えております。

また、両社の共同出資先であり、包括的提携先でもある韓国銅製錬合弁会社 L G - ニッコー・銅株式会社を加えた3社で、質・量共に世界トップクラスの銅生産者連合を構築し、提携効果の最大化を追求してまいります。

以上

お問合せ先: 日鉱金属株式会社 本部広報室
八牧・榎本・花島 TEL 03-5573-7258・7257
三井金属鉱業株式会社 広報室
鹿江・浅木 TEL 03-5437-8028

新体制における PPC 社の概要

- (1) 商号 パンパシフィック・カッパー株式会社
- (2) 本店所在地 東京都港区虎ノ門一丁目
- (3) 資本金 30億円程度に増資の予定
(出資比率：日鉱金属66%、三井金属34%)
- (4) 売上高 約1,900億円
- (5) 従業員数 約45人
- (6) 主な事業内容
- ・銅鉱石の購入
 - ・委託製錬による銅地金、硫酸、その他銅製錬副産物の製造
 - ・電気銅、硫酸、その他銅製錬副産物の販売

PPC 社の新経営体制 (平成14年7月1日付)

代表取締役社長 (非常勤)	大木 和雄 (日鉱金属 代表取締役社長)
代表取締役 副社長執行役員	宮澤 三郎 (現 日鉱金属 専務取締役)
代表取締役 専務執行役員	亀野 迪夫 (現 三井金属 取締役兼常務執行役員)
取締役 常務執行役員	笠松 裕 (現 PPC 代表取締役会長)
取締役 常務執行役員	中村 年孝 (現 PPC 代表取締役社長)
取締役 執行役員	中山 良一 (現 PPC 取締役)
取締役 (非常勤)	宮村 眞平 (三井金属 代表取締役社長)
取締役 (非常勤)	宇野 智 (日鉱金属 取締役常務執行役員 (6月25日就任予定))
監査役	益田 雄策
監査役 (非常勤)	橋内 正親
監査役 (非常勤)	外池 廉太郎

以上